

令和7年8月12日

大山町議会議長 吉原 美智恵 様

大山町議会議員 吉原 美智恵

令和7年大山町議会議員研修報告書

1	研 修 名	令和7年度 鳥取県町村議会女性議員研修会
2	日 時	令和7年8月4日（月）
3	出 席 者	吉原議員、池田議員、島田議員、京力議員
4	研 修 地	三朝町「溪泉閣」
5	研修内容	(1)「未来に向かって発言・調査の質向上」 ・早稲田大学デモクラシー創造研究所 ・茨城県取手市役所総務部情報管理課長 岩崎 弘宜 氏 (2)「米子市の水質管理と水道管老朽化対策」 ・米子市上下水道局 水道設計監理課 長澤 伸也 水道管理課 山本 剛
6	研修結果 又は概要 (意見・ 感想)	(1)「未来に向かって発言・調査の質向上」 ①今までを一旦リセットし、「このままでは議会の・自らの信頼向上にはならない」という意識から、新しいものを「築く」「気づく」脳内チェンジを感じることに。 ② 結論 ・二元代表制 = 執行機関とは対等であり上下関係ではない。 ・議会基本条例に反問権を付与し対等な関係にする。 ・独りよがりにならず、自分の考えの反対側からも物事を見て、調べて議会に臨むこと。 ・執行機関による犯罪、法令違反の課題は徹底追及。それ以外の行政課題を道を残してあげる気持、希望を持って臨もう。 ・自らのマニフェストの中で重点の3本柱は「次回予告」を上手に使うって執行を推進に向けたり、執行を質（正）していこう。 ③ 提案 ・一般質問に力を入れるのではなく、表決権を行使する一人の議員として調査を充実させ、「議会」として討議・提言して、町政発展・課題解決していけないか。 ・立法府としての権能、議決機関としての機能、政策提言機能を充実する議会運営に少しずつ変えて行かないか。

		(2)「米子市の水質管理と水道管老朽化対策」 ①米子市水道事業における“老朽管”の現状 • 一般的に“老朽管”のとは耐用年数を超えた管のことを言う。米子市の更新基準によると、管の種類によって差があり、40年、50年、100年となっている。 • “老朽管”問題の対策 (1) 更新費用の捻出→材料費の高騰 (2) 水道管は地中にあるため、目視できない (3) 水道職員の減少 (4) 技術力の低下 以上を踏まえながら、5年に1回以上の頻度で漏水調査をしている。 • 鳥取県西部（1市6町）広域連携に伴う水質検査業務委託を米子市水道局が受託している。
--	--	---